

## 会社概要 (平成27年5月20日現在)

### Corporate Profile

会社名	株式会社クスリのアオキ
所在地	(本部) 石川県白山市松本町2512番地
電話番号	(代表) 076-274-1111
設立	昭和60年1月26日
資本金	1,367百万円
従業員	1,400名
平均臨時雇用者数	3,009名
店舗数	267店舗
事業内容	医薬品・化粧品・食品・日用雑貨などの近隣型小売業(ドラッグストア)、調剤薬局

## 役員の状況 (平成27年5月20日現在)

### Board of Directors

取締役会長	青木桂生
取締役最高顧問	青木保外志
代表取締役社長	青木宏憲
社長執行役員	
取締役常務執行役員	三沢康司
取締役常務執行役員	八幡亮一
社外取締役	鶴羽樹
社外取締役	岡田元也
常勤監査役	田中誠一
社外監査役	桑島敏彰
社外監査役	中村明子

## IRスケジュール

### IR Schedule

平成27年	8月 初旬	定時株主総会招集ご通知・株主優待のご案内発送
	8月 19日	第31回定時株主総会開催
	8月 19日	定時株主総会決議ご通知・年次報告書発送
	8月 31日	株主優待のお申込み締切
	9月 中旬	平成28年5月期 第1四半期決算発表
	9月 下旬	株主優待品発送
	12月 中旬	平成28年5月期 第2四半期決算発表
平成28年	3月 中旬	平成28年5月期 第3四半期決算発表
	5月 20日	平成28年5月期 決算期末日
	6月 下旬	平成28年5月期 決算発表

## 株主メモ

### Shareholders Information

事業年度	毎年5月21日から翌年5月20日まで
定時株主総会	毎年8月20日までに開催
定時株主総会の基準日	毎年5月20日
期末配当の基準日	毎年5月20日
中間配当の基準日	毎年11月20日
公告方法	電子公告< <a href="http://www.kusuri-aoki.co.jp">http://www.kusuri-aoki.co.jp</a> > ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問合せ先	電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

## よくあるお問合せ

### Shareholders FAQ

#### 住所変更のお申出先について

株主様のお取引の証券会社等にお申出ください。  
なお、特別口座の株主様は、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### 未払配当金について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### ●ホームページのご案内

<http://www.kusuri-aoki.co.jp> または **クスリのアオキ 検索**

株主・投資家の皆様に、下記情報を含めた最新のニュース・トピックスを公開しております。

- 財務ハイライト
- 決算短信
- 月次営業速報
- IRスケジュール

#### ●ネットショップはこちら

<http://shop.kusuri-aoki.co.jp/>



クスリのアオキ



# BUSINESS REPORT

## 第31期 年次報告書

平成26年5月21日～平成27年5月20日

株式会社クスリのアオキ

証券コード：3398





代表取締役社長  
社長執行役員 青木 宏憲

**Q** 平成27年5月期はこれまで以上に新規出店を加速させましたが、新規エリアの状況についてお聞かせください。

当社は平成24年の群馬県進出以降、平成25年には岐阜県、平成26年には滋賀県と愛知県、今年2月には三重県に第1号店を出店し、新規エリア開拓を進めてまいりました。平成27年5月期はさらに新規エリアにおける出店速度を上げ、北関東エリア（群馬県、埼玉県）に11店舗、東海近畿エリア（岐阜県、滋賀県、愛知県、三重県）に17店舗出店し、北信越エリアを含めた全エリア合計で40店舗という過去最高の出店数となりました。新規エリアにおいても、地域のお客様にご支持いただける店舗づくりに取り組み、全国に通用するドラッグストアチェーンを目指してまいります。

**Q** 食品部門を強化する取り組みについて今後の方針をお聞かせください。

当社では、平成22年5月期より、食品部門の品ぞろえ等の拡充に取り組んでおります。その中でも大型店を中心に、青果や精肉など、生鮮食品の取り扱いを拡大してまいりました。今後はお客様のより近くで、より便利にご利用いただけるように、大型店事業部を中心に鮮度・品質へのこだわりや、さらに買い物しやすいレイアウトの確立などに取り組み、地域のお客様にご来店いただける店舗づくりに取り組んでまいります。



**Q** 今後の調剤事業の取り組みについてお聞かせください。

国の医療費の増大を受けて、自分の健康は自分で守る「セルフケア」への関心の高まりや、「医薬分業」の進展にともない、当社では専門性の強化が不可欠と考えております。平成27年5月期においてもドラッグストアへの調剤薬局併設を進め、併設率は51.7%にまで達しております。今後も、薬剤師や医療事務スタッフによる対応のあり方など、患者様に気持ちよくご利用いただける薬局づくりに力を入れ、お薬や健康に関してお気軽にご相談していただける、近くて便利な「かかりつけ薬局」を目指してまいります。



**Q** 今後の展望と株主の皆様へのメッセージをお願いします。

平成28年5月期においても、新規エリアを中心とした高速出店を推進するとともに、生鮮食品の取り扱いを強化した大型店フォーマットの確立、調剤事業の強化に取り組み、お客様の生活により密着した店舗づくりを進めてまいります。また、当社の強みである、単独企業としての組織力、実現力で、今後も大きな目標に向かってまい進していく所存です。



そして、現状に満足することなく、当社が企業として継続的に発展をしていくことこそが、株主の皆様のご期待に応える最大の責任であると考え、社業の発展により努力してまいります。

今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

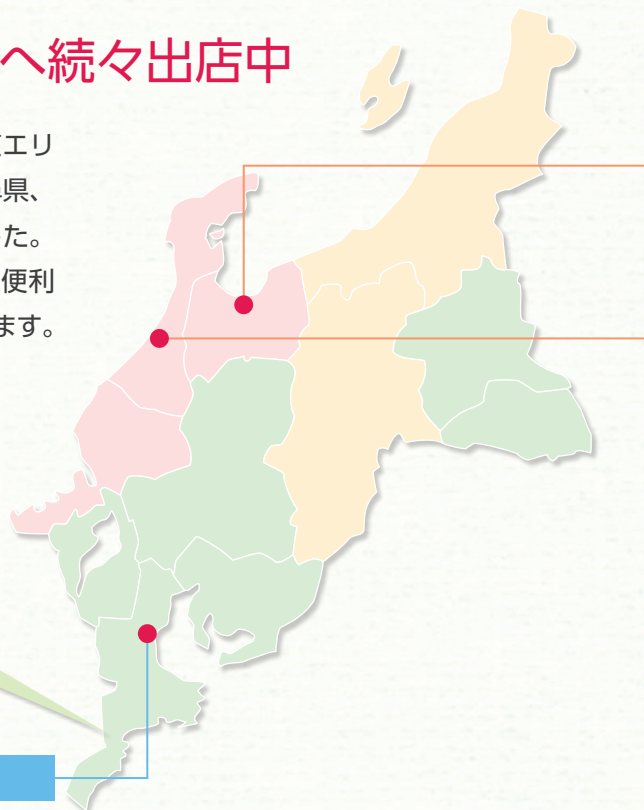


## 新規エリア・東海近畿エリアへ続々出店中

平成27年5月期も新規エリアでの出店を進め、北関東エリア（群馬県、埼玉県）に11店舗、東海近畿エリア（岐阜県、滋賀県、愛知県、三重県）に17店舗を出店いたしました。調剤薬局の併設も推進し、お客様のより近くで、より便利にお買い物をしていただける店舗づくりに努めてまいります。

### 平成27年5月期 三重県へ初進出

今年2月、三重県津市に第1号店となる津河芸店を出店いたしました。同県内には8月現在、津河芸店、算所店、栄町店、久居店、鈴鹿住吉店の合計5店舗を出店しており、さらなるドミナント化を進めてまいります。



### 津河芸店（三重県津市） 2/11オープン

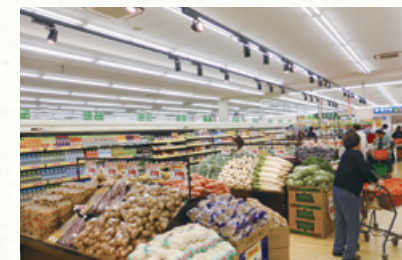
#### スタッフの声

まずはお客様に気持ちよくご来店いただくため、お店の顔ともいえるレジ対応や接客の強化を行っております。スタッフ一同、ご来店いただくお客様に対して感謝の気持ちを忘れず、笑顔で接していると、「元氣な挨拶でいいですね」とのお声をいただきました。また、地域ならではの食品を取り揃えるなど、地域のお客様に喜んでいただけるお店づくりを目指し、今後もさまざまな取り組みを行ってまいります。



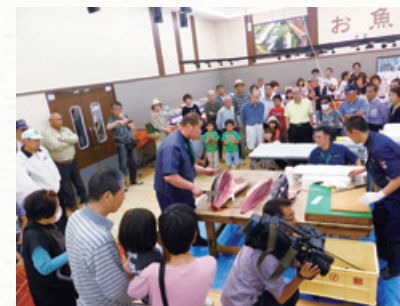
## さらに便利なお店づくりを目指して

### 岩瀬東店（富山県富山市） 5/23改装オープン



#### スタッフの声

当社にとって新規取り組みの一つである、鮮魚を取り扱う店舗です。多くのお客様が鮮魚コーナーや惣菜コーナーに立ち止まり、お買い物を楽しんでいらっしゃいます。新鮮なお魚から、当店人気のお寿司、食欲をそそる惣菜など、食卓を彩る品々から生活必需品まで一度に揃う便利さにより、多くのお客様にご来店いただいていると感じております。ご家族連れのお客様も気軽にお越しいただけるよう、広々とした駐車場も完備しております。今後もスタッフ一丸となり、より近くて便利な店舗づくりを目指してまいります。



### 御経塚あやめ店（石川県野々市市） 3/4オープン



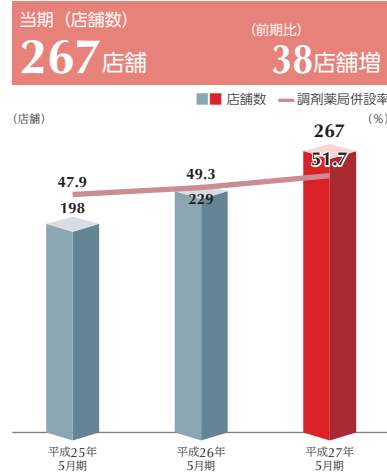
#### スタッフの声

ドラッグストアの店内に入ってすぐ目に飛び込むのは、色鮮やかで新鮮な野菜の並ぶ青果売場。新鮮なお肉が陳列された精肉売場や、アツアツ揚げたての香ばしい香りがたちこめる、惣菜コーナー。「ドラッグストアなのにスーパーみたい」とのお声が多く聞かれ、多くのお客様よりご好評をいただいております。

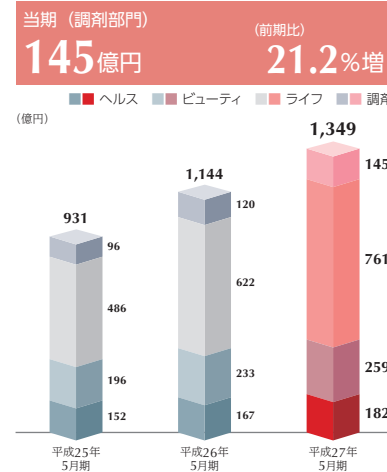


▶ 財務ハイライト

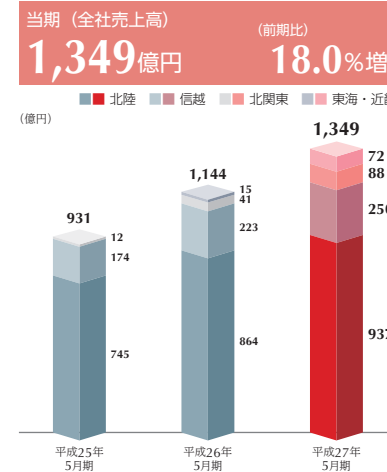
■ 店舗数／調剤薬局併設率



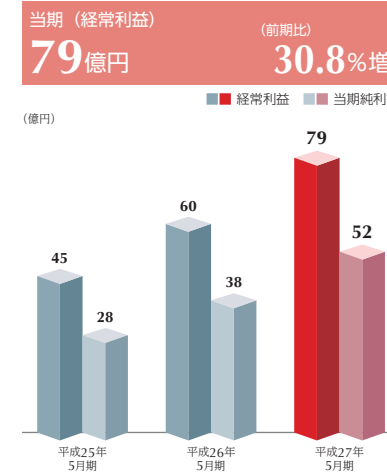
■ 売上高 (商品部門別)



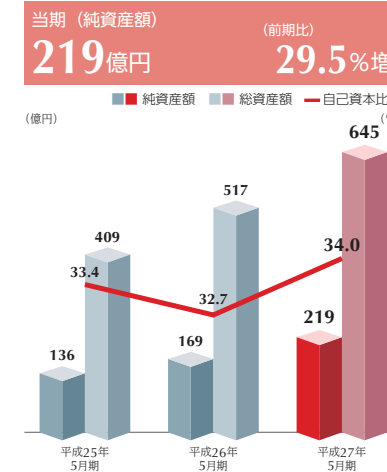
■ 売上高 (エリア別)



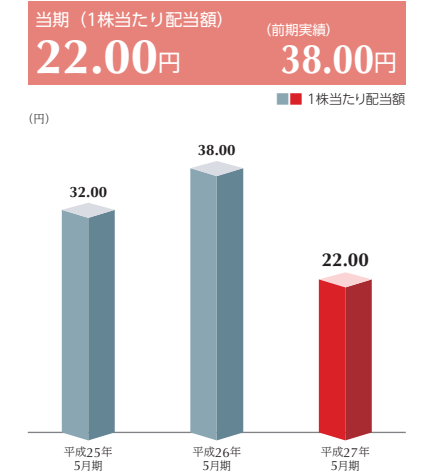
■ 経常利益／当期純利益



■ 純資産額／総資産額／自己資本比率



■ 1株当たり配当額



▶ 当期 (平成27年5月期) の営業の概況

当期 (平成26年5月21日～平成27年5月20日) におきましては、ドラッグストア40店舗 (石川県2、富山県4、新潟県4、長野県2、群馬県8、岐阜県12、滋賀県2、埼玉県3、三重県3) の新規出店、ドラッグストア併設調剤薬局26薬局 (石川県3、富山県5、福井県2、新潟県3、長野県3、群馬県3、岐阜県2、滋賀県2、愛知県1、埼玉県1、三重県1) の新規開局を行いました。一方、ドラッグストア2店舗、ドラッグストア併設調剤薬局1薬局を閉店いたしました。この結果、総店舗数は、ドラッグストア261店舗 (内調剤薬局併設135店舗)、調剤専門薬局6店舗の合計267店舗となっております。平成26年4月に実施された消費増税の影響により、上期においては消費が伸び悩んだものの、お客様により便利に当社店舗をご利用いただくために、食品の品揃え強化を中心とした店舗

の改装を継続的に実施したことなどにより、下期にかけて回復基調に転じ、売上高、利益ともに計画を上回りました。調剤部門では、地域から信頼される「かかりつけ薬局」を目指し、併設調剤薬局の開局を積極的に進め、店舗網の拡大を図りました。またCMをリニューアルし認知度の向上に努めるとともに、来局いただきましたお客様への接遇強化や、待ち時間を快適にお過ごしいただけるよう待合室を拡大する改装などを実施したことにより、処方箋枚数、売上高ともに大きく伸びました。以上の結果、当期の業績は、売上高1,349億94百万円 (前期比18.0%増)、営業利益77億78百万円 (前期比31.8%増)、経常利益79億59百万円 (前期比30.8%増)、当期純利益52億13百万円 (前期比36.3%増) となり、5期連続の増収増益となりました。

▶ 次期 (平成28年5月期) の見通し

今年2月には三重県への初進出を果たし、順調に店舗数を拡大しておりますが、平成28年5月期においては、過去最多となる52店舗のドラッグストア新規出店を計画しております。お客様よりご支持をいただいております店舗全面改装は18店舗を計画しております。また、調剤部門につきましては、ドラッグストア併設調剤薬局25薬局の新規開局を計画しております。その結果、平成28年5月期末の調剤薬局併設率は51.3%となる見込みであります。医薬分業を担う、インフラとしての体制を整え、地域医療の窓口となるようサービスの向上に努めてまいります。また、ドラッグストア1店舗の閉店を計画しております。以上により、平成28年5月期末の店舗数はドラッグストア312店舗 (内調剤薬局併設160店舗)、調剤専門薬局6店舗の合計318店舗となります。

平成28年5月期の業績予想につきましては、売上高1,600億円 (前期比18.5%増)、営業利益75億90百万円 (前期比2.4%減)、経常利益78億円 (前期比2.0%減)、当期純利益52億60百万円 (前期比0.9%増) を見込んでおります。

※1. 平成27年5月期より会計方針を一部変更しており、平成26年5月期については各財務数値に対して遡久処理を行っております。 ※2. 当社は、平成26年5月21日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成25年5月期および平成26年5月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。 ※3. 当社は、平成27年5月21日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年5月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

貸借対照表（要旨）

科目	当期		科目	当期	
	(平成27年5月20日現在)	前期 (平成26年5月20日現在)		(平成27年5月20日現在)	前期 (平成26年5月20日現在)
(単位：百万円)					
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>①流動資産</b>	<b>30,342</b>	<b>22,800</b>	<b>②流動負債</b>	<b>30,082</b>	<b>24,533</b>
現金及び預金	8,481	5,257	買掛金	19,447	15,379
売掛金	2,081	1,706	短期借入金（※）	2,447	1,982
たな卸資産	15,207	12,135	その他	8,186	7,170
その他	4,571	3,700	<b>②固定負債</b>	<b>12,484</b>	<b>10,264</b>
<b>①固定資産</b>	<b>34,208</b>	<b>28,972</b>	長期借入金	8,714	6,741
<b>有形固定資産</b>	<b>28,342</b>	<b>24,268</b>	その他	3,770	3,522
建物及び構築物	22,675	18,475	<b>負債合計</b>	<b>42,567</b>	<b>34,797</b>
土地	1,087	1,087	<b>純資産の部</b>		
その他	4,579	4,705	<b>株主資本</b>	<b>21,884</b>	<b>16,932</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>998</b>	<b>895</b>	資本金	1,367	1,337
<b>投資その他の資産</b>	<b>4,867</b>	<b>3,807</b>	資本剰余金	1,570	1,540
敷金及び保証金	2,849	2,378	利益剰余金	18,947	14,054
その他	2,018	1,428	自己株式	△ 0	△ 0
<b>資産合計</b>	<b>64,550</b>	<b>51,772</b>	<b>評価・換算差額等</b>	<b>67</b>	<b>22</b>
			<b>新株予約権</b>	<b>31</b>	<b>19</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>21,983</b>	<b>16,974</b>
			<b>負債・純資産合計</b>	<b>64,550</b>	<b>51,772</b>

※1年以内返済長期借入金

POINT ①

主な増加要因は、新規出店等による、たな卸資産の増加30億72百万円、および建物等の有形固定資産の増加40億73百万円等によるものです。

POINT ②

主な増加要因は、新規店舗の設備投資を用途とする長期借入金の増加19億72百万円、買掛金の増加40億68百万円等によるものです。

損益計算書（要旨）

科目	当期		科目	当期	
	(平成26年5月21日から平成27年5月20日まで)	前期 (平成25年5月21日から平成26年5月20日まで)		(平成27年5月20日現在)	前期 (平成26年5月20日現在)
(単位：百万円)					
<b>売上高</b>	<b>134,994</b>	<b>114,411</b>	<b>売上高</b>	<b>134,994</b>	<b>114,411</b>
売上原価	98,481	83,559	売上総利益	36,513	30,851
<b>売上総利益</b>	<b>36,513</b>	<b>30,851</b>	販管費	28,734	24,951
販管費	28,734	24,951	<b>営業利益</b>	<b>7,778</b>	<b>5,899</b>
<b>営業利益</b>	<b>7,778</b>	<b>5,899</b>	営業外収益	317	321
営業外収益	317	321	営業外費用	136	135
営業外費用	136	135	<b>経常利益</b>	<b>7,959</b>	<b>6,085</b>
<b>経常利益</b>	<b>7,959</b>	<b>6,085</b>	特別利益	50	74
特別利益	50	74	<b>① 特別損失</b>	<b>173</b>	<b>109</b>
<b>① 特別損失</b>	<b>173</b>	<b>109</b>	<b>税引前当期純利益</b>	<b>7,835</b>	<b>6,051</b>
<b>税引前当期純利益</b>	<b>7,835</b>	<b>6,051</b>	税金費用	2,622	2,226
税金費用	2,622	2,226	<b>当期純利益</b>	<b>5,213</b>	<b>3,825</b>
<b>当期純利益</b>	<b>5,213</b>	<b>3,825</b>			

POINT ①

主に、退店決定による減損損失110百万円によるものです。

POINT ①

主に税引前当期純利益78億35百万円に加え、非資金費用である減価償却費の計上26億26百万円、仕入債務の増加40億68百万円等によるものです。

POINT ②

主に新規出店に伴う有形固定資産の取得50億74百万円によるものです。

POINT ③

主に新規店舗の建物建築資金等を使用とする長期借入金による収入48億円、長期借入金の返済による支出23億62百万円等によるものです。

キャッシュ・フロー計算書（要旨）

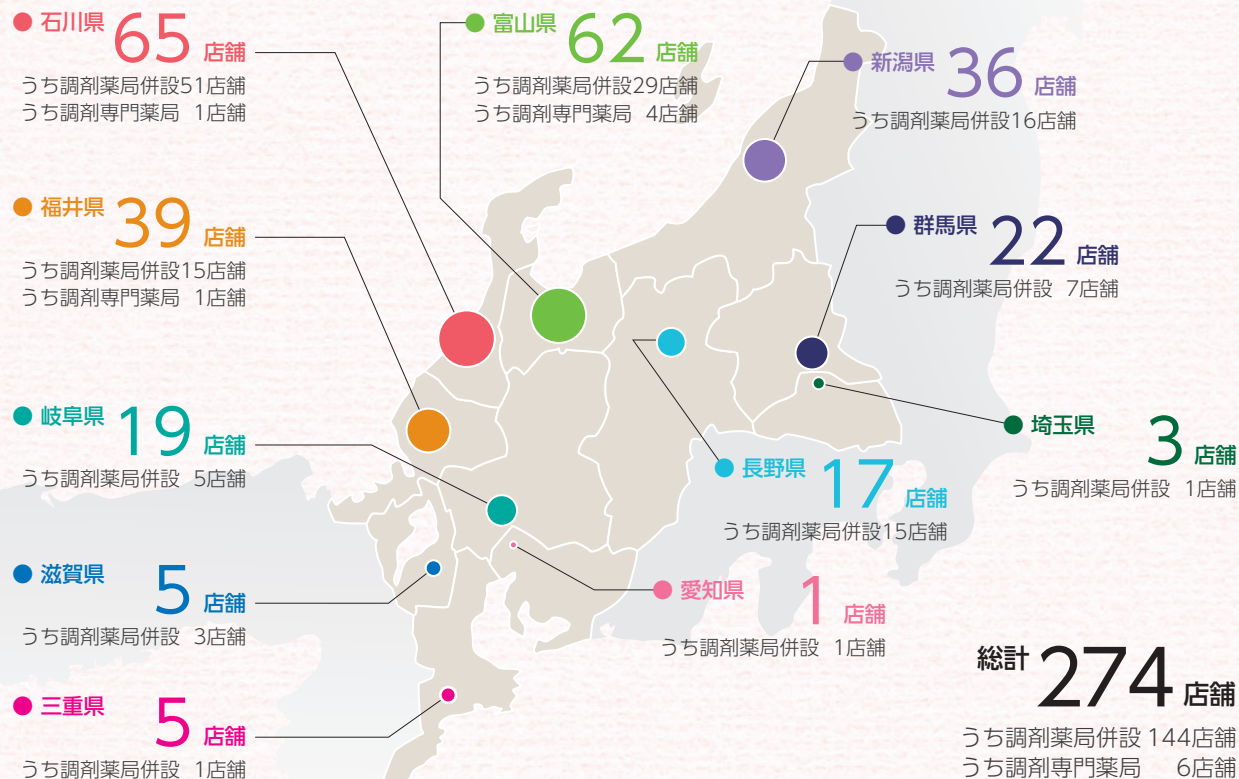
科目	当期		科目	当期	
	(平成26年5月21日から平成27年5月20日まで)	前期 (平成25年5月21日から平成26年5月20日まで)		(平成27年5月20日現在)	前期 (平成26年5月20日現在)
(単位：百万円)					
<b>①営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>8,307</b>	<b>6,306</b>	<b>①営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>8,307</b>	<b>6,306</b>
<b>②投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 6,354</b>	<b>△ 7,229</b>	<b>②投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 6,354</b>	<b>△ 7,229</b>
<b>③財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,271</b>	<b>2,331</b>	<b>③財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,271</b>	<b>2,331</b>
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	3,223	1,407	現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	3,223	1,407
現金及び現金同等物の期首残高	5,257	3,850	現金及び現金同等物の期首残高	5,257	3,850
現金及び現金同等物の期末残高	8,481	5,257	現金及び現金同等物の期末残高	8,481	5,257





## 店舗数の状況 (平成27年8月20日現在)

Number of Stores by Region



## 会社沿革

Corporate History

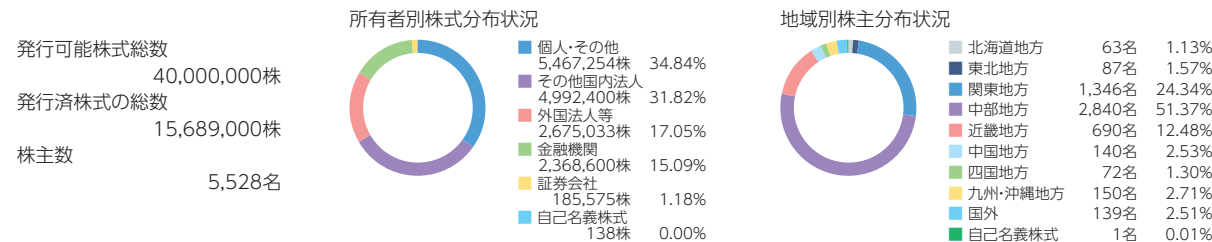
- 昭和60年 株式会社クスリのアオキ設立
- 昭和61年 1号店を石川県金沢市に出店
- 平成 9年 富山県1号店を砺波市に出店
- 平成 9年 福井県1号店を福井市に出店
- 平成 9年 株式会社ツルハと業務・資本提携
- 平成13年 イオンウエルシアグループ(現ハピコムグループ)に加入
- 平成15年 イオン株式会社と業務・資本提携
- 平成17年 新潟県1号店を上越市に出店
- 平成18年 東京証券取引所市場第二部に上場
- 平成19年 100店舗を達成

- 平成20年 長野県1号店を長野市に出店
- 平成23年 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
- 平成24年 群馬県1号店を伊勢崎市に出店
- 平成24年 株式会社A2ロジを設立
- 平成25年 岐阜県1号店を岐阜市に出店
- 平成25年 200店舗を達成
- 平成26年 滋賀県1号店を栗東市に出店
- 平成26年 愛知県1号店を一宮市に出店
- 平成26年 埼玉県1号店を深谷市に出店
- 平成27年 三重県1号店を津市に出店



## 株式の状況 (平成27年5月20日現在)

Stock Information



※平成27年5月21日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって分割するとともに、発行可能株式総数を80,000,000株とする定款変更を行っております。なお、発行済株式総数は31,378,000株となっております。

## 株主優待制度

Shareholders Special Benefit Plan

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、年1回、株主優待制度を実施しております。

- 対象株主様 毎年5月20日現在の株主名簿に記録された1単元(100株)以上ご所有の株主様
- お申込み方法 「株主優待のご案内」に添付された返信ハガキにて、8月末日までにお申込みください。  
※なお、「株主優待のご案内」は、毎年8月初旬にお届けする「定時株主総会招集ご通知」に同封させていただきます。
- 贈呈時期 毎年9月末頃のお届け予定
- 優待内容 **AまたはBのいずれかおひとつ**

### A 株主優待カード

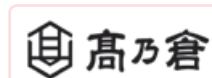
当社店舗および「クスリのアオキネットショップ本店」\*でのお買い物時にご利用できる  
**5%割引カード**



※「クスリのアオキネットショップ本店」での株主優待割引利用をご希望の方は、別途お手続きが必要となります。詳しくは、「クスリのアオキネットショップ本店」のサイトをご覧ください。  
※「クスリのアオキ薬天市場店」等、インターネットショッピングモールへの出店店舗は対象外といたします。  
※「クスリのアオキネットショップ本店」では商品ごとに5%割引となります。  
※株主優待カードのデザインは変更となる可能性があります。

### B 地方名産品

ご所有株式数に応じた2,000円~5,000円相当の品  
平成27年5月20日時点の株主様を対象とした名産品例(5,000円相当)



焼菓子オリジナルアソート



佃の極上詰合せ



氷見糸うどん

